令和7年　1月　7日
第　１１　号

日進中だより

学ぶ生徒　誠実な生徒　鍛える生徒

さいたま市立日進中学校
TEL　048-663-1251
FAX　048-663-0834

『部活』

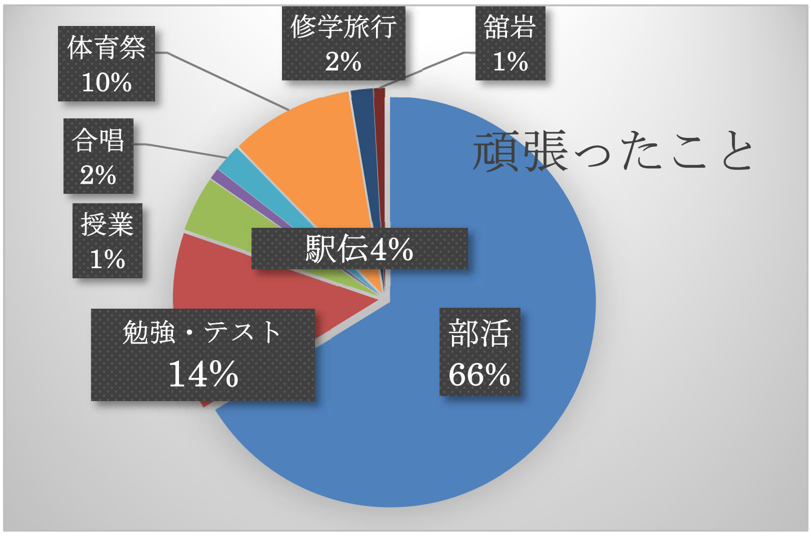
校　長　小　熊　誠

令和７年、始まりました。まず第一に、大きな青空の下、穏やかに新しい年を迎えられたことに感謝です。次に、保護者・地域の皆様を始め、生徒、教職員、日進に携わっていただいている全ての皆様に感謝です。そして、日進で、３回目の新年を迎えることができたことに感謝です。令和７年教職員一同、この感謝を胸に、私たちの宝である子どもたちを、守り、磨き、輝かせるために、尽力して参る所存です。今年も、より一層の御理解と御協力そして温かい御支援をよろしくお願いいたします。

さて私は、昨年 10 月、生まれ育った マイ魂(ソウル)タウン大宮 に約1/4世紀ぶりに戻って参りました。氏神様である中山神社、菩提寺である円蔵院、そして武蔵一之宮大宮氷川神社に御挨拶と初詣に行って参りました。２日には新居で、もう約 30 年続いている毎年恒例の教え子たちの集合も行いました。毎年その場で、昔話はもちろん、結婚や就職、現在の状況等、様々な話になりますが、今回その話題の中心となったのは、最近の部活でした。そして今年は、その話に、現在高校２年の私の息子と、現在帰国中で、偶然遊びに来ていた、カミさんの従妹の子どもたちで、小学校からアメリカンスクールに通い、現在は香港の大学に通っている 18 歳と 22 歳の現役大学生の男子２名も加わりました。18 歳の弟は、日本では高校３年ですが、１年飛び級して大学１年です。当然彼ら２名は、部活の経験は全くありません。だから、私と教え子たちの関係が理解できません。今回集まって来ている教え子たちは、学校は違えど、皆陸上部の教え子たちです。10 号でお話したメンバーもいます。この私の家を建ててくれた大工もいます。同じ部活の先輩後輩で結婚した夫婦もいます。そして、私は参加者の結婚式に全て参列しています。大学生の２名は、本当に私たちの関係を不思議がっていました。「結婚式に呼ぼうなんて思う先生はいないし、卒業しても、こんなに続いている関係はない」と困惑しました。部活に所属していなかった私の息子は、「こんな関係の先生はいないけど、サッカーのクラブチームのコーチとは繋がっている」と話しました。そして、大学生も息子も、「部活ってそんなに夢中になるほど、楽しかったのか」と教え子たちに問いかけてきました。教え子たちは、「楽しいというより、日常の生活そのものだったし、先生(私)を含め、皆といるのが普通だった。楽しかったことも、辛かったことも、同じ時間を共有していたから、しばらく会ってなくても、会えばすぐ昔に戻れるんだ。部活ってタイムマシーンかも」と答えていました。大学生の２名は、本当に、私たちの関係を羨ましく思ったようです。そして、「部活って、全く興味もなかったし、ウザイと思っていたけど、もしかしたら、この繋がりが日本の良さの一つなのかもしれない」としみじみと語り、息子の話から「これからは、クラブチームがその代わりをするのかな」とも話していました。

右の円グラフを見てください。今年の日進の３年は、例年より、はるかに部活に力を注いできたようです。現在部活について、様々な情報が飛び交い、多種多様な意見が渦巻いています。しかし、子どもたちにとっては、無くてはならない、学校生活の、いや日常の一部となっています。私たちには、日進にとってのより良い部活の在り方を探り、実践していく使命があります。皆様のお力が必要です。よろしくお願いします。

最後に、令和７年も日進の活躍に、輝きに、「メガ進化」に御期待ください。



希望の登校　笑顔の活動　満足の下校